

〔トルクロホスメチル粉剤〕

農林水産省登録 第16885号

性状: 類白色粉末 45 μm以下

毒性: 普通物

危険物: —

有効年限: 5年

包装: 3kg×8袋、10kg×1袋、20kg×1袋

リゾレックス® 粉剤

有効成分: トルクロホスメチル ……………5.0%

殺菌剤分類 14



「住友化学農業ガイド」の見方: i-農力サイトの「製品情報」、「農業ガイドを見る」から、「農業ガイドの見方」をご覧ください。
本剤の最新情報: こちらの2次元バーコードを読み取るとi-農力サイトに掲載されている本剤の最新情報がご覧になれます。

〔適用と使用方法〕

作物名	適用病害名	10アール 当り使用量	使用時期*	総使用回数*	使用方法
てんさい	苗立枯病 (リゾクトニア菌)	125~250g/10a分 の用土約280ℓ	は種前	本剤: 1回 トルクロホスメチル: 6回 (育苗土壌への混和は1回、500倍希釈灌注は1回、100倍希釈灌注は1回、散布は3回)	ペーパーポット用の用土または覆土に均一に混和
		75~150g/10a分 の覆土約20ℓ			
		50~100g/10a分 の突起板使用覆土約7ℓ			
トマト なす きゅうり	白絹病 (リゾクトニア菌)	50~100g/m ²	は種前	1回	土壌混和
ピーマン					
うり類 (漬物用)					
ふき	白絹病	種茎重量の1%	植付前	本剤: 1回 トルクロホスメチル: 3回 (#2)	種茎紛衣
		20~40kg	定植前		土壌混和
麦類	雪腐小粒菌核病	3kg	根雪前	2回	散布
そば	立枯病	20kg	は種前	1回	全面土壌混和
たまねぎ	苗立枯病 (リゾクトニア菌)	40kg			全面処理土壌混和
ねぎ	白絹病	20~30kg	土寄せ前 但し、14日前	3回	株元散布
	リゾクトニア葉鞘腐敗病	30kg			
みつば	立枯病	20kg	は種前	本剤: 1回 トルクロホスメチル: 2回 (#3)	全面土壌混和
はくさい	尻腐病	20~30kg	定植前	本剤: 1回 トルクロホスメチル: 3回 (#6)	全面処理土壌混和
エンダイブ	すそ枯病	30kg	定植時	1回	作条処理土壌混和
みずな	尻腐病		定植前		土壌混和
だいこん	亀裂褐変症 (リゾクトニア菌)	20~40kg	は種前	本剤: 1回 トルクロホスメチル: 2回 (#5)	全面土壌混和
にんじん	根腐病				
ごぼう	黒あざ病	40kg		1回	

作物名	適用病害名	10アール 当り使用量	使用時期*	総使用回数*	使用方法
うど	白絹病	3g/株	根株養成 畑定植前	本剤：1回 トルクロホスメチル：3回 (#4)	根株粉衣
とうがん	実褐斑病	30kg	45日前	1回	土壌表面散布
ほうれんそう	株腐病	20~40kg	は種前		本剤：1回 トルクロホスメチル：3回 (#7)
こまつな	リゾクトニア病				
だいおう	苗立枯症	150g/10a分の 突起板使用覆土 約12ℓ		1回	ペーパーポット用の覆土に 均一に混和
チューリップ	葉腐病	10~20kg	植付時		土壌混和
花き類 ・観葉植物	立枯病	50kg	定植前	本剤：1回 トルクロホスメチル：5回	
スイトピー	腰折病				
シクラメン	苗立枯病 (リゾクトニア菌)				

#1：種子粉衣は1回、は種前の土壌混和及びは種時の土壌灌注は合計1回、株元灌注は2回

#2：種茎粉衣は1回、定植前の土壌混和は1回、株元灌注は1回

#3：は種前の土壌混和は1回

#4：粉剤は1回、水和剤は2回

#5：は種前は1回、は種後は1回

#6：定植前の土壌混和は1回

#7：は種前は1回、は種後は2回



効果・葉害等の注意

- 使用量に合わせて秤量し、使いきる。
- てんさいの苗立枯病防除に使用する場合は、ピシウム菌、アフアノマイセス菌、フザリウム菌に起因する苗立枯病には効果が劣るので、これらの菌が優占する圃場での使用はさける。
- 野菜類の苗立枯病防除ではリゾクトニア菌による苗立枯病には有効であるが、他の病原菌による苗立枯病には効果が劣るのでそれらによる苗立枯病の混発が予想される場合には、他の有効な薬剤と組み合わせて使用する。
- ほうれんそうの株腐病防除に使用する場合は、多発生条件では効果がやや劣ることがあるので、所定範囲での多い薬量を土壌混和する。
- 間引き菜、つまみ菜に使用しない。
- カラー及び花はすに使用する場合は、湛水状態で使用しない。また、使用后14日間は入水しない。
- 本薬剤を施設で使用したあと、施設内に臭が残る場合には換気を行う。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に葉害の有無を確認してから使用する。
なお、普及指導センター、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。



安全使用上の注意



(2023年5月31日現在の内容) 住友化学の農業支援サイト:i 農力<https://www.i-nouryoku.com/>

- 使用の際は農薬用マスク、不浸透性手袋などを着用する。
- 水産動植物（甲殻類、藻類）に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用する。
- 直射日光をさけ、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管する。

〔品目特性〕

- 有機リン系の殺菌剤です。
- 作用機作は未確認ですが病原菌の運動機能や細胞分裂の制御機能に影響を与えて殺菌効果を発揮すると考えられています。
- 予防的な処理で効果があります。
- リゾクトニア属菌、コルティシウム属菌、ティフラー属菌などに対して効果があります。